

第46回 日本核物質管理学会 年次大会プログラム(暫定版)

全体会合同会：日本核物質管理学会 年次大会プログラム委員長 長谷 竹晃

1日目(令和7年12月2日(火))

デジタル多目的ホール(オンライン会場1)

9:30- 開場

10:00-10:10 開会セッション

10:00 - 10:05

開会の辞

日本核物質管理学会 年次大会プログラム委員長 長谷 竹晃

10:05 - 10:10

開会挨拶

日本核物質管理学会 会長 井上 尚子

10:10-10:55 招待講演 I

座長：日本核物質管理学会 会長 井上 尚子

演題：日本の保障措置の現状と課題(仮)

講師：中桐 裕子、原子力規制庁 保障措置部門 参事官

11:00-11:10 学生米国 INMM 発表報告

11:10-11:45 ポスター発表ショートプレゼンテーション

座長：日本核物質管理学会 学生会

11:45-12:45 休憩

メディアホール

12:45 - 13:30 若手・学生ポスターセッション I

企画・運営：日本核物質管理学会 学生会

P4651 資源有効利用とセキュリティ性に優れた低減速軽水炉の研究—研究計画—

○渡邊 尚之、日下 雄都、相楽 洋、木村 祥紀

東京科学大学

P4652 UおよびPu含有事故耐性燃料を用いた低減速沸騰水型原子炉の長寿命運転・安全性における比較研究

○日下 雄都、相楽 洋、木村 祥紀、森 悠輔

東京科学大学

P4653 Integrated Dynamic Probabilistic Risk Assessment of Passive Safety Systems in High Temperature Gas-cooled Reactors under Combined Safety - Security Scenarios (1) Scenario Development

○Husnayani Ihda, Sagara Hiroshi, Kimura Yoshiki

Institute of Science Tokyo

P4654 小型ナトリウム冷却高速炉の ATWS 回避を目指した固有安全性の強化

○石井 孝仁、リソースキー エヴァ、相楽 洋、川島 正俊

東京科学大学

P4655 Feasibility Study on Non-Destructive Assay Technologies applicable to Th-U Fluoride Molten Salt Reactor Fuel for Nuclear Safeguards

○Firmanda Fibra Rhoma, Sagara Hiroshi

東京科学大学

- P4656 Analysis of simulated detector response from photonuclear interrogation signals induced from nuclear material by bremsstrahlung photon source
OKiatkongkaew Krittanai¹, Sagara Hiroshi¹, Tanabe Kosuke², Katabuchi Tatsuya¹, Terada Kazushi³, Hori Jun-Ichi³, Takahashi Yoshiyuki³
¹Institute of Science Tokyo, ²National Research Institute of Police Science, ³Kyoto University
- P4657 光核反応を利用した核燃料物質検知技術の開発
○國友 理紗¹、片瀨 竜也¹、相楽 洋¹、Krittanai Kiatkongkaew¹、石塚 知香子¹、田辺 鴻典²
¹東京科学大学、²科学警察研究所
- P4658 MA含有燃料中のPu定量における中性子非破壊測定へのMA核種の影響評価
○江口 綾¹、相楽 洋¹、三星 夏海²、長谷 竹晃²
¹東京科学大学、²日本原子力研究開発機構
- 13:30 – 14:15 若手・学生ポスターセッション II
- P4659 核鑑識におけるMOX燃料の起源推定のための基礎研究(1)研究計画
○キム ガヌ、木村 祥紀、相楽 洋
東京科学大学
- P4660 日本における核物質取扱施設のためのウラン国内共同分析(2)
○岩田 健一郎、海老根 征寛、天笠 翔太、中村 省吾、松本 一貴、見世 健一、加藤 吉康
核物質管理センター
- P4661 バラカ原子力発電所における重大事故時の影響解析
—HYSPLITを用いた放射性物質の大気拡散および被ばく線量の評価—
○アブドラビントミム、堺 公明
東海大学
- P4662 教師なしディープニューラルネットワークを用いたソースターム推定手法の改良「研究計画書」
○Yasmine Hanna、相楽 洋、木村 祥紀、韓 治暎
東京科学大学
- P4663 超高速衝突による鉄筋コンクリート構造物の損傷機構の解明
—コンクリート成分の影響評価研究計画—
○阿部 拓夢、渡部 聖大、相楽 洋、木村 祥紀
東京科学大学
- P4664 超高速衝突による鉄筋コンクリート構造物の損傷機構の解明と核物質防護システムの堅牢性強化
○渡部 聖大、相楽 洋、木村 祥紀、阿部 拓夢
東京科学大学
- P4665 LLMを用いたテキストベースのBDBTシナリオシミュレーション手法の提案
○菅原 和将、出町 和之
東京大学大学院

デジタル多目的ホール(オンライン会場 1)

14:20 - 15:20 セッション A:非破壊測定技術(1)

座長：長谷 竹晃

- #4601 保障措置のための核分裂性物質定量に向けた中性子共鳴分析システム開発
○ロッシ ファビアナ¹、李 在洪¹、吉見 優希¹、芝 知宙¹、寺田 和司²、堀 順一²
¹日本原子力研究開発機構、²京都大学
- #4602 ²⁵²Cf 中性子源を用いた卓上型中性子共鳴透過分析装置の開発
○土屋 晴文、ゲンボウシャウプ セバスチャンジョエル
日本原子力研究開発機構
- #4603 REFIT を使った中性子共鳴透過スペクトル解析
○小泉 光生¹、李 在洪¹、弘中 浩太¹、伊藤 史哲^{1,3}、高橋 時音¹、堀 順一²、寺田 和司²
¹日本原子力研究開発機構、²京都大学、³高エネルギー加速器研究機構

15:25 - 16:25 セッション A:非破壊測定技術(2)

座長：土屋 克嘉

- #4604 制動放射 X 線を用いた光核反応による核物質検知・濃縮度測定技術の開発 (1) 全体計画
○相楽 洋¹、田辺 鴻典²、片渕 竜也¹、寺田 和司³、高橋 佳之³、堀 順一³
¹東京科学大学、²科学警察研究所、³京都大学
- #4605 陽子-リチウム原子核反応を光子源として用いた核物質探知技術の開発
○片渕 竜也¹、國友 理紗¹、相楽 洋¹、Krittanai Kiatkongkaew¹、石塚 知香子¹、
田辺 鴻典²
¹東京科学大学、²科学警察研究所
- #4606 電子飛跡検出型コンプトンカメラの核物質モニタリングへの応用
○園田 真也¹、高田 淳史¹、谷森 達¹、古村 翔太郎¹、水本 哲矢¹、土屋 兼一²、
菅谷 駿²、田辺 鴻典²、秋葉 教充²、角田 英俊²、佐藤 大樹³
¹京都大学、²科学警察研究所、³日本原子力研究開発機構

コラボレーションルーム(オンライン会場 2)

14:20 - 15:20 セッション B:核セキュリティ技術開発

座長：木村 祥紀

- #4607 都市部における RDD からの Co-60 放出の逆推定
— EKI とラグランジュ拡散モデルの利用 —
○朴 柱龍¹、張 時鎬¹、相楽 洋²、金 應秀¹
¹ソウル大学、²東京科学大学
- #4608 都市域放射線テロ発生時における建物影響範囲に関する LHADDAS 大気拡散・線量解析
○中山 浩成¹、土屋 兼一²、佐藤 大樹¹、田辺 鴻典²
¹日本原子力研究開発機構、²警察庁科学警察研究所
- #4609 大規模イベントにおける核セキュリティのための可搬型検出器を用いたリアルタイム放射線マッピングシステム
○高橋 時音、小泉 光生、吉見 優希、持丸 貴則、齋藤 翼
日本原子力研究開発機構

15:25 - 16:25 セッション C: 3S に係る取り組み

座長：山田 博之

- #4610 六ヶ所再処理施設における 3S(Safety、Security、Safeguards)連携の重要性と取り組み
○江口 正朗、東海 幸康
日本原燃株式会社
- #4611 フィジカル・サイバー空間にまたがる原子力プラント 3S を俯瞰し実践・主導する規制人材育成(4) 2025 年度実施状況
○韓 治暎、相楽 洋、松本 義久、林崎 規託、塚原 剛彦、吉田 克己、池上 雅子、片渕 竜也、
木倉 宏成、鷹尾 康一郎、高須 大輝、松浦 知史

東京科学大学

- #4612 輸送容器表面に付着した塩化物によるステンレス鋼の局所腐食に与える影響評価
○橋場 大弥¹、菊池 圭一¹、湯浅 互¹、鬼澤 貴行²
¹日本原子力研究開発機構、²エイ・ティ・エス株式会社

デジタル多目的ホール(オンライン会場 1)

16:30-17:15 企画セッション I

座長：調整中

演題：イランの核問題に関する一連の動向(仮)

講師：清水 亮、日本原子力研究開発機構

17:20 - 17:50 日本核物質管理学会総会・功労賞受賞式(非会員も参加可能)

カフェテリア

18:00 - 20:00 意見交換会

2日目(令和7年12月3日(水))

デジタル多目的ホール(オンライン会場 1)

9:30-10:15 招待講演Ⅱ

座長：調整中

演題：韓国における核セキュリティトレーニング(仮)

講師：(調整中)、Korea Institute of Nuclear Non-Proliferation And Control / International Nuclear Nonproliferation and Security Academy

10:20 - 11:20 セッション A:非破壊測定技術(3)

座長：田辺 鴻典

- #4613 隠匿核物質の検知に向けた非破壊測定技術の開発
○藤 暢輔、前田 亮、米田政夫
日本原子力研究開発機構
- #4614 高放射性固体廃棄物中の核物質量の定量に係る非破壊測定技術開発
— 中性子計測法を用いた米国エネルギー省との共同研究の概要 —
○白藤 雅也¹、佐野 恭平¹、堀内 雅一¹、加藤 茜¹、渡邊 一樹¹、谷川 聖史¹、丸山 創¹、北尾 貴彦¹、Conner James²、Lafleur Adrienne²、Watson Mara²
¹日本原子力研究開発機構、²Los Alamos National Laboratory
- #4615 高放射性固体廃棄物中の核物質量の定量に係る非破壊測定技術開発
— PHITS を用いたγ線による He-3 計数管への影響評価 —
○堀内 雅一、佐野 恭平、白藤 雅也、加藤 茜、渡邊 一樹、谷川 聖史、北尾 貴彦、丸山 創
日本原子力研究開発機構

コラボレーションルーム(オンライン会場 2)

10:20 - 11:40 セッション D: 政策

座長：調整中

- #4616 2026年「核秩序」は保たれるか～新 START 失効の可能性と瀬戸際の NPT
○小林 祐喜
笹川平和財団
- #4617 核開発断念を促す有効なアプローチとは何か～能力と意志の観点から～
○高島 蒼太
奈良大学
- #4618 原子力施設への攻撃に関する米国の論理
○田崎 真樹子
日本原子力研究開発機構
- #4619 トリチウムをめぐる「もう一つの問題」～原子力の平和利用と軍事利用の境界に関する考察～
○小林 祐喜
笹川平和財団

11:40 - 12:40 休 憩 (若手・メンター部会懇談会)

デジタル多目的ホール(オンライン会場 1)

12:40 - 14:00 セッション E: 3Sに係る技術(1)

座長：芝 知宙

- #4620 HALEU 燃料のマルチサイクルにおける燃焼特性、炉心安全特性、及びウランおよびプルトニウムの核拡散抵抗性 —Part-1 PWR 型炉心における燃焼特性と炉心安全特性に基づく HALEU 燃料マルチサイクルのフィジビリティスタディー
○川島 正俊¹、齊藤 正樹²、岩本 友則³

¹元東工大研究員, ²東京工業大学名誉教授, ³日本原燃株式会社

- #4621 HALEU 燃料のマルチサイクルにおける燃焼特性、炉心安全特性、及びウランおよびプルトニウムの核拡散抵抗性 –Part-2 回収ウラン HALEU 燃料の燃焼特性とウラン及びプルトニウムの核拡散抵抗性の強化
○齊藤 正樹¹, 川島 正俊², 岩本 友則³
¹東京工業大学名誉教授, ²元東工大研究員, ³日本原燃株式会社
- #4622 回収ウランを用いたナトリウム冷却高速炉における HALEU 燃料の安全性・核セキュリティ及び保障措置への影響
○Lisowski Eva、相楽 洋
東京科学大学
- #4623 Once-through High Burnup Fuel Management Strategy with Dual Neutron Energy Spectrum Core in HTGR (IV) Performance Analysis on Core Safety and Waste Management
○Chong Hong Fatt, Sagara Hiroshi
Institute of Science Tokyo

14:05 – 15:05 セッション E: 3S に係る技術(2)

座長：稲村 智昌

- #4624 浮体式原子炉(FNPP)に関する課題と対応策の整理
○今村 有里
日本原子力研究開発機構
- #4625 SMR のセキュリティ・バイ・デザイン: 研究炉と実用炉の核物質防護規制要件の比較
○加藤 優弥、木村 隆志
日本原子力研究開発機構
- #4626 PWR 燃料集合体に対する新たな核物質監視システムの適用性の検証
○嵯峨 稔己、高橋 佳之、宇根崎 博信
京都大学
- #4627 原理的に Pu 単離不可能な簡易・高汎用次世代再処理技術の開発および核拡散抵抗性評価
○鷹尾 康一郎、小野 遼真、相楽 洋
東京科学大学

コラボレーションルーム(オンライン会場 2)

12:40 – 14:00 セッション F: 核セキュリティに対する取り組み

座長：中村 仁宣

- #4628 原子力機構における核セキュリティ法令遵守活動の改善
○平田 智大、塙 和鷹、芝田 陵大、山田 博之、山崎 勝幸
日本原子力研究開発機構
- #4629 原子力機構における核セキュリティ文化醸成活動と意識調査の長期分析
○塙 和鷹、平田 智大、芝田 陵大、山田 博之、宮地 紀子
日本原子力研究開発機構
- #4630 SOC システムの概要及びその運用について
○小林 優、木村 昌雅
日本原燃株式会社
- #4631 特定放射性同位元素のセキュリティに関する考察
○林崎 規託
東京科学大学

14:05 - 15:25 セッション G: 保障措置に対する取り組み

座長：中村 慎宮

- #4632 JAEAにおける保障措置対応業務の継続的改善に向けた取り組み
－保障措置是正処置プログラム(SGCAP)－
○長谷川 里絵、野崎 天生、丸山 創、宮地 紀子
日本原子力研究開発機構
- #4633 六ヶ所再処理工場における計量管理方法の改善
○中屋敷 浩、東海 幸康
日本原燃株式会社
- #4634 2時間前通告模擬補完的アクセス教材の開発
○関根 恵、石川 由紀
日本原子力研究開発機構
- #4635 乾式再処理施設における中間在庫検認(IIV)への対応に係る考察
○安倍弘¹、鷲谷忠博¹、吉田幸正¹、尾形孝成^{1,2}、杉原英幸¹、山田美一¹、坂村義治^{1,2}、村上毅^{1,2}
¹日本原子力研究開発機構, ²電力中央研究所

デジタル多目的ホール(オンライン会場 1)

15:30-16:15 企画セッションII

座長：相楽 洋

演題：スウェーデン、ウプサラ大学アルバ・ミュルダール核軍縮センターにおける第4回核軍縮に関する学際的会議-核の脅威の時代における軍縮への道-
講師：日本核物質管理学会元会長 齊藤 正樹

16:20-16:50 閉会セッション

16:20-16:40

論文賞、若手・学生セッション発表賞授賞式

16:40-16:50

閉会挨拶

日本核物質管理学会 年次大会プログラム副委員長 稲村 智昌

-
- プログラムは予告なく変更されることがありますが予めご了承願います。
 - 誤記等発見された場合は事務局までご連絡願います。Email: am046-youshi@inmmj.org
-

以上